

IT戦略

基本的な考え方

ITシステムは、金融機関にとって経営戦略・ビジネス戦略上、欠かさないものとなっており、IT戦略の優劣が、他社との差別化や競争優位の源泉となっています。

そのような認識や過去のシステム障害の教訓を踏まえ、決済インフラを支える担い手として、システム安定稼働に向けたリスク管理にしっかりと取り組んでいます。さらに、インターネットの普及や経済のグローバル化、監督規制強化等社会環境が大きく変化するなか、多様化するお客さまニーズに対して、ITシステムを活用した「銀行・信託・証券一体」で、安心・安全、シームレスなお客さまサービスを提供しています。

〈みずほ〉の変革プログラムにおいて、グループベースでのシステム共通化等に着手し、システム構造・ITコスト構造の変革を推進するとともに、現中期経営計画においては、アジア向けビジネスやインターネットバンキングの拡充など、旺盛なビジネスニーズにしっかり対応するため、過去最大規模の

IT投資を計画し、積極的なシステム開発を行っています。

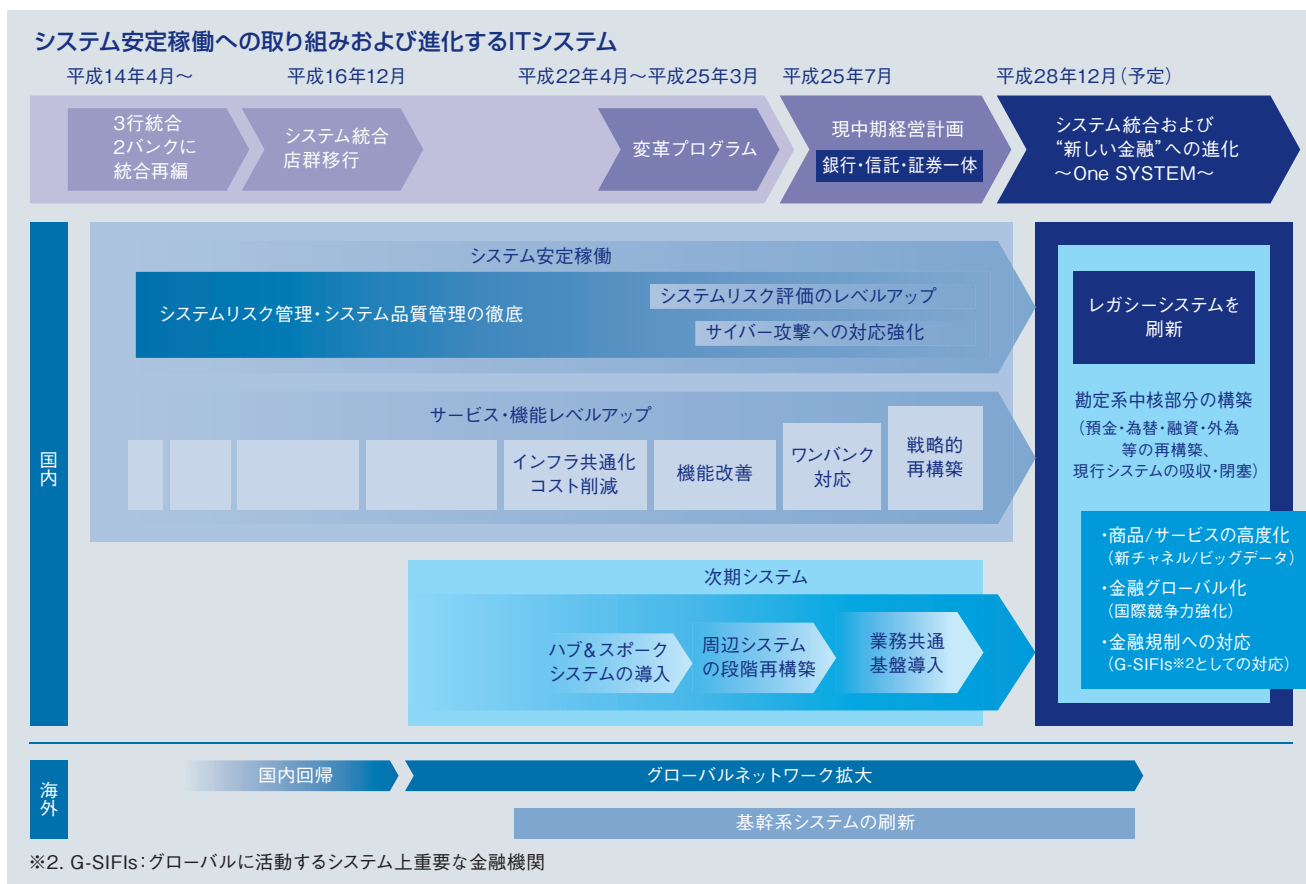
さまざまなシステム開発が進むなか、これまでのシステム安定稼働に向けた取り組みやお客さまサービス・ビジネスニーズへの対応の集大成として、次期システム※1の開発に着手し、着実に進んでいます。

※1. 預金・為替・融資・外為等を担う国内勘定系の次世代システム

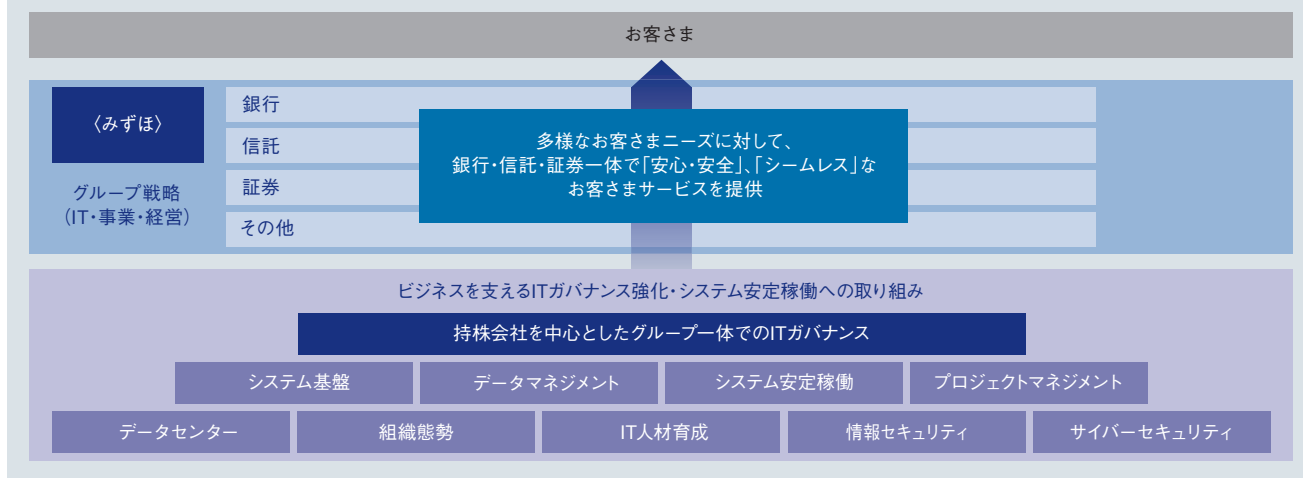
ビジネスを支えるITガバナンス強化・システム安定稼働への取り組み

年々複雑化するシステムを安全・確実に開発するための体制構築、システム基盤共通化や稼働したシステムの管理強化・安定化のためのIT投資等を行い、安定稼働に向けた継続的な取り組みを続けています。

さらに、グループベースでのデータマネジメント態勢構築や頻発・巧妙化するサイバー攻撃対策等も推進し、さらなる安心・安全の向上とビジネスを支えるシステム基盤の強化に努めています。



ビジネスを支えるITガバナンス強化・システム安定稼働への取り組み



データマネジメント

国際的な金融規制の強化やIT技術の進化により、データを収集・分析し、経営に活かす「データマネジメント」の重要性に注目が集まっています。データインフラの整備・高度化、データ分析・活用の促進等を目的に、データマネジメント部を創設し、経営情報データベースの整備によるリスクガバナンス高度化、データ分析基盤の活用による非対面チャネルにおけるマーケティングの高度化に取り組んでいます。

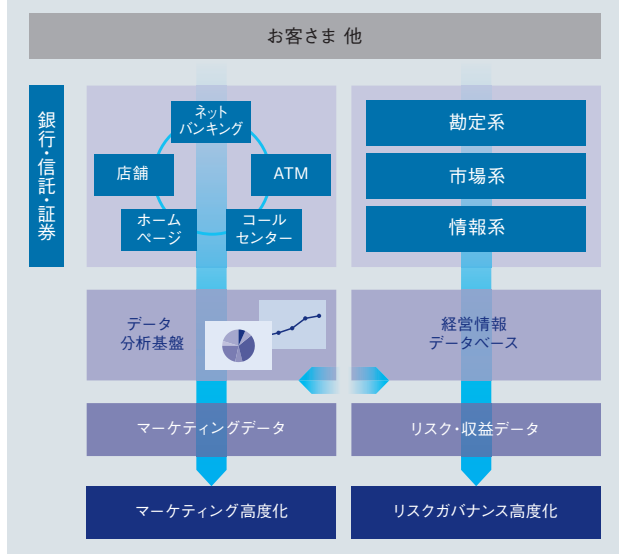
サイバーセキュリティ

サイバー空間が経済社会の活動基盤となり、サイバー攻撃による脅威が今後さらに深刻化することが予想されるなか、〈みずほ〉ではお客様の安全を守るため、不正送金を防止するためのさまざまな対策に取り組んでいます。

また、〈みずほ〉ではMizuho-CIRT※3を中心に、外部の専門機関とも連携しながら、サイバー攻撃へ迅速に対応できる態勢の継続的な強化に取り組んでいます。

※3. Cyber Incident Response Team

データマネジメント



サイバーセキュリティ

